

# みやぎ技能 KENTEI NEWS

-第3号-  
平成31年3月

宮城県は、技能向上に挑戦する会社と若者を応援します。

## アルプスアルパイン株式会社古川第2工場 中鉢美樹さん(21歳) 2級放電加工技能士(ワイヤ放電加工作業)平成30年度合格



実技を経て精度への意識が強くなってきました

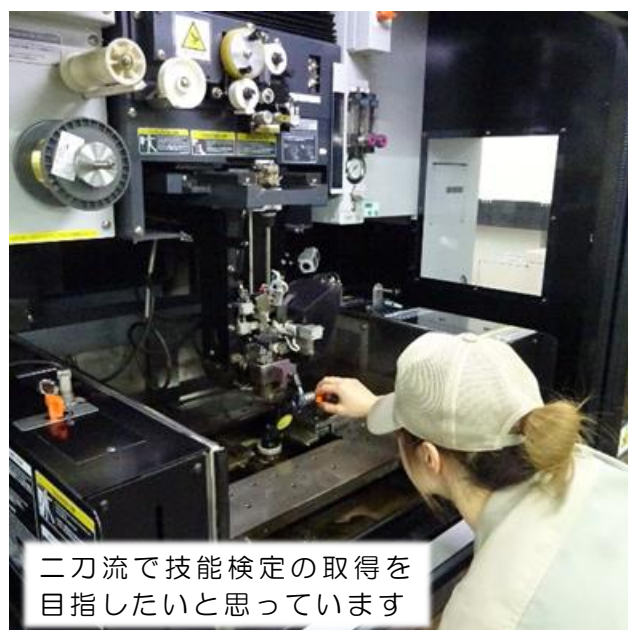
### 受検するきっかけ

平成27年に古川工業高等学校を卒業後、アルプス電気株式会社へ入社し、北原工場(現:古川第2工場)へ配属になり金型製作に携わるワイヤ放電加工工程でNCデータ作成をメインとした業務を行っています。入社3年目を迎え少しずつ仕事にも慣れNCデータ作成も一人でできるようになってきたことから、先輩方のようにNCデータ作成から加工まで完結できるようになりたく、機械操作や加工方法の指導をしていただき加工もできるようになりました。現在の職場では女性の先輩方が毎年技能検定を受検し合格しているので自分も挑戦し資格を取りたいという気持ちから受検しました。

### 合格に向けて取り組んだこと

会社内にもものづくり研修所があり通常は社内、社外へ金型技術の指導等を行う施設なのですが、技能検定学科のサポートも実施し

ており技能検定3か月前から研修所にて週1回の学科試験問題をメインとした教育を行っていただきました。一問一問、問題に対しわかりやすく解説していただくうちに、初めて聞く用語なども自分で理解できるようになりました。実技試験の練習も3か月前から職場の先輩に加工物セット方法のコツや、機械操作での注意点などを学び、制限時間内に加工を終わらせるように何度も繰り返し練習を行い、なんとか検定前には制限時間内で終了できるようになりました。今回技能検定合格に向けて取り組んだことで受検前より知識、技能ともにレベルアップし今後の業務にもプラスになりました。



二刀流で技能検定の取得を目指したいと思っています

### 技能検定受検を通して得たこと

入社後NCデータ作成作業に集中し日々を送っていましたが、今回技能検定を受検し学科の問題をこなしていく中で自分の視野の狭さ

に気づかされ、金型製作にはたくさんの工具や材料、加工方法などがあることが分かりました。実技の方では、金型部品精度を出すために機械の状態、部品の状態、加工物セットの方法を最良状態に持っていくための細かい気配りが必要だと実感しました。今まで NC データ作成を行ってきて、精度に対する意識が数字上でしかなかったのが実技を経て自分の中で変化があり、今後の NC データ作成する上での精度への意識が強くなってきました。

## アルプスアルパイン株式会社 古川第 2 工場



美しい電子部品を究めます

### 今後の目標

技能検定 2 級合格を機会に金型製作におけるワイヤ放電加工の知識はもちろんですが、他工程の加工や一般常識の知識もたくさん身に付け、今後の業務にも活かせるよう努力し、次の目標でもあるワイヤ放電加工作業の技能検定 1 級合格を目指していきたいと思えます。また、今の仕事に満足することなく、社内でも取り組んでいる多能工にもチャレンジしていきたいと、同じ放電系の形彫放電加工の知識を学びワイヤ放電、NC 放電加工、二刀流で技能検定の取得を目指したいと思っています。

### 事業者の声：工場長 西原豊さん

当社は、家電及び携帯市場向け、車載電装市場向け、そしてエネルギー・産機・健康機器関連市場と幅広い分野に向けた電子部品を製造しております。当職場は、そのものづくりを支えるコア技術の一つである金型製作を行っています。年々高度化する電子部品の機

能、精度に追従するためにも、金型製作でも技術と技能の融合により日々進化が必要です。技術者が思いを描き、それを具現化する技能者がいて、良い金型が生まれ、良い部品、よい製品につながっています。この技能検定取得の活動も、基本となる一人ひとりの技術・技能者育成ツールの一つとしてこれまで取り組んできた結果、現在では、現代の名工、宮城県卓越技能者を始め、1人で複数職種を持つなど、のべ200名を越える技能有資格者となっています。特にここ数年は、若手メンバーの受検合格が増加してきており活気が出てきていると感じています。当社のビジョンである「美しい電子部品を究めます」を追究し続ける原動力として、これからも技能検定に取り組み、技術、技能者育成に努めてゆきます。

#### 会社紹介

社名：アルプスアルパイン株式会社  
 代表：代表取締役 社長執行役員  
 兼アルプスカンパニー長 栗山年弘  
 設立：昭和 23 年 11 月 1 日  
 所在地：  
 本社 東京都大田区雪谷大塚町 1-7  
 古川第 2 工場 大崎市古川塚目字北原 136-1  
 TEL. (0229) 91-8311

### 県からのお知らせ

## 平成 29 年度技能検定（2 級）受検者数トップ 7

順位	職種	作業	申請者	合格者	合格率
1	建築大工	大工工事	81 人	10 人	12.3%
2	機械検査	機械検査	72 人	31 人	43.1%
3	農業機械整備	農業機械整備	72 人	21 人	29.2%
4	プラスチック成形	射出成形	68 人	39 人	57.4%
5	建設機械整備	建設機械整備	66 人	43 人	65.2%
6	仕上げ	治工具仕上げ	40 人	8 人	20.0%
7	冷凍空調調和機器施工	冷凍空調調和機器施工	38 人	15 人	39.5%

あなたも挑戦してみませんか？



# 有限会社仙台ヒラケイ 大沼慶悟さん（20歳）

## 2級塗装技能士（金属塗装作業）平成30年度合格



### 受検するきっかけ

去年、高等技術専門校で塗装を学んでいる時に金属塗装の技能検定があることを知りました。その時に、金属塗装検定の手伝いをさせていただく機会があり、検定を受けていた方々の塗装を見ていて、自分も受検したいと思うようになりました。高等技術専門校を卒業後、現在働いている会社では金属塗装検定の取得に力を入れており、金属塗装検定を受検する機会をいただき、念願の塗装技能士の一人になりたいという気持ちと、自分自身の知識、技能の向上に繋がると思い受検しました。

### 合格に向けて取り組んだこと

今回、技能検定を受けるにあたり、まず自分の苦手なことを探しアドバイスをもらいながら本番に向けて空いた時間を使い練習しました。実技試験の練習以外にも学科の勉強にも力を入れ、過去問を勉強しましたが思っていた以上に難しく苦戦しました。実技の練習では、普段やっていることの応用でしたがなかなか思うようにいかないことが多く、先輩方にアドバイスをいただき繰り返し練習しました。



1級技能士を目指して日々精進していきたいです

### 技能検定受検を通して得たこと

技能検定を受けてみて改めて、塗装の難しさや達成感を得る事ができました。その他にも検定では塗装の基本的なことを決められた時間内にするのですが、時間が残りわずかなところでなんとか終わらせることができましたが作業のスピードや段取りの悪さを改めて実感でき、限られた時間の中で作業することの大切さを得ることができました。

### 今後の目標

今後の目標はまだ明確には決まっていますが、もっと塗装を上手になりたいという気持ちが大きいです。今回の検定を振り返ってみるとスピードと効率がまだまだ足りないことがわかったのでその辺を克服していき、今後、1級技能士を目指して日々精進していきたいです。



### 事業者の声：工場長 佐藤洋志さん

当社は平成元年仙台市蒲生地区にて営業し、東日本大震災にて工場、設備すべて失い、その年に仙台市荒井地区にて営業を再開。念願叶い、平成30年10月仙台市蒲生地区にて新工場を設立営業しております。

当社では小ロット多品種で、配電盤や分電盤などの電気関係から建築関係さまざまな製品の焼付塗装を行っております。1日の塗装色は10色以上を超える作業がほとんどです。近年焼付塗装業も時代の流れに従い無鉛化の塗装仕様、お客様の要望が増えてまいりました。かねてより進めていた粉体塗装化を、現在では約90%まで粉体塗装でお客様のニーズにえています。

特別な仕様や色の関係、溶剤型の塗料を使用することもあり、当社では、社員の技能向上と基本を学ぶため資格取得に向け、受検料の負担や技能士手当を設けております。社員の7割は2級金属塗装技能士の資格をもちますが、今後1級技能士の資格を取得できるよう全力で応援していきたいと思っております。

### 会社紹介

社名：有限会社仙台ヒラケイ  
代表：代表取締役 山王勇一  
設立：平成元年7月  
所在地：仙台市宮城野区中野字牛小舎 25-64  
電話：022-253-7670  
事業内容：金属塗装焼付  
ホームページ：https://sendai-hirakei.com/

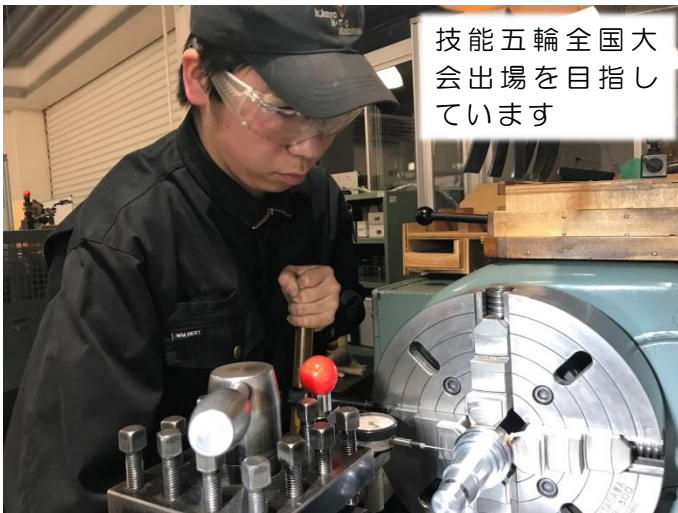
# 宮城県気仙沼向洋高等学校 小山孔平さん（17歳）

## 2級機械加工技能士（普通旋盤作業）平成30年度合格



### 受検するきっかけ

私がこの検定を受検したきっかけは、昨年からはじめた普通旋盤の技能を向上させ、技能五輪二次予選会に出場をするためです。昨年、部活の顧問の先生から技能五輪という競技があるということ聞き、部活の先輩が県大会を通過し、二次予選会へ出場したため、自分も出場したいという気持ちが芽生え、検定を受検しました。



### 今後の目標

今後の目標は技能五輪全国大会への出場です。私はこの夏に県大会を通過し、二次予選会へ出場しました。しかし緊張で思い通りの加工をすることができず、思い残すことが多くありました。来年は、確実に県大会を通過し、二次予選会で自分の加工ができるように、そして全国大会へ出場できるように、日々の練習を大切にしていきたいと思います。

### 学校の声：機械技術科長 武田修司さん

本校は気仙沼市で唯一の専門高校です。情報海洋科・産業経済科・機械技術科の3学科を持ち、工業学科である機械技術科は、地域はもちろんのこと全国各地に工業人材を輩出してきました。技能検定取得は、平成15年から始まり今年で16年目を迎えますが、延べ580名を超える生徒が技能検定を取得しています。平成23年、東日本大震災による大津波で校舎を流失し、一時は技能検定の取得も危ぶまれました。しかし、生徒から「技能検定が受りたい」という声上がり、我々教員も奮起したことを思い出します。8年が経過した今は、校舎も復旧し、多くの技能検定に取り組めるようになりました。

基幹となる技能の伝承が、子供たちの心も体も成長させてくれることと信じ、これからも技能士の育成に力を注いでいきたいと思えます。

### 合格に向けて取り組んだこと

2級合格へ向け私は要素別の練習に力を入れました。2級の実技課題には溝加工、ねじ加工、テーパ合わせなどさまざまな要素があります。そのため要素別の練習を多くしました。ねじ加工ではねじにガタが無いように、溝加工、テーパ合わせではなるべく中央公差になるように、要素別で完璧なものを作れるように努力しました。一通りの作業を通す通し練習では、荒加工や仕上げ加工ごとに、それぞれ時間が何分かかっているかを測定し、どこに時間がかかっているか、どこにムダな作業があるかを明確にして、時間を短縮しやすいようにしました。

### 技能検定受検を通して得たこと

この検定の受検を通して得たことは、より多くの加工技術と、その加工のために必要な関連知識です。私は、2級受検のためにマイスター講習を受けました。その中で、より効率の良い加工手順や、寸法の出し方を教えていただき、実技試験へつなげることができました。その他にも、学科試験対策のために朝講習を顧問の先生にいただき、旋盤に関する刃物の材種や加工に関しての知識も得ることができました。

### 学校紹介

学校名：宮城県気仙沼向洋高等学校  
校長：佐藤 浩  
創立：明治34年  
学科：情報海洋科・産業経済科・機械技術科  
所在地：宮城県気仙沼市長磯牧通78番地  
電話：0226-27-2311  
ホームページ：https://kkouyo-h.myswan.ed.jp

発行 宮城県経済商工観光部産業人材対策課

電話 022-211-2763

メール sanzinj2@pref.miyagi.lg.jp

Web http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/

☆技能検定やものづくりマイスターにつ☆  
☆いて、お気軽にお問い合わせください。☆